

上海での自立支援介護の捉え方

私は、「自立支援」という言葉を思い浮かべるのと、選んで自由、達成感を味わうなど、プラス要因の言葉を幾つも連想します。それが介護で意味する自立支援の本質であり、目指す方向性だと思つことから、研修を実施する際、日本介護の特徴として必ず自立支援について触れます。

二ーズを把握し
活気ある生活を
自立とは、身体的自立
はもちろん、精神的自立
社会的自立など、生きる
こと全体を指し、その維
持向上を支援することに
なりますが、ご利用者様
には様々な背景がありま

す。従つて、支援方法も千差万別。正確な二ーズを引き出し、活気ある生活を目標にケアしていくことが重要となります。とはいへ、なかなか思うように上海では自立支援介護が浸透しません。それより、転倒などリスクのあるご利用者様には安全第一の為、極力動かなくて良い介助を実践しています。まして、ご利用者様に何かをして頂くものなら、ご家族様から「費用を払っているのに職務怠慢だ」とまで言われるそうです。

やはり、ご利用者様ご家族様には介助に対する細かな趣旨説明も必要だと思ひます。仮に何もし

介助に対する主旨説明を明確に

たくない、して欲しいという方が居たとしても、そこには喜怒哀楽が無く、ただ生きていくだけになります。

人は誰もが感情を持ち、その感情が楽しい方向へ行くことに越したことはありません。そこには押し付けの自立支援介護では無く、様々な要素の自立を目指し、少しでも充実した生活を送って頂き、ご利用者様やご家族様の笑顔が見られるよう追求していくことが介護の醍醐味でもあると、私達は現地職員の方々に伝えま

す。

中国の
高齢者
マーケット

～介護・不動産事業の行方～

著者プロフィール
ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本式介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。

稲田義人

自立支援を深く追求することにより、介護への意識は高まり、知識が増え、技術は発達していくのだと考えます。当然、一度きりの研修では伝わらないと思ひます。何度も研修を重ねながら一人でも多くの方に理解共感して頂けるよう、工夫した実習や事例検討も今後の課題です。



ゲストハウス総経理
稲田義人